

五家莊ごかのしょう

先人たちが営々と築き上げた…

天空の遺産

CONTENTS

02 天空に暮らす

ここでしかふれあえない旅の宝物

04 山に宝あり

心と体に染み渡る

06 ふたつの落人伝説

歴史を語り、舞い踊る

08 山笑う山滴る
山粧う山眠る 春夏秋冬

12 天空の山脈

どこまでも続く稜線

14 地図

天空に暮らす

まるで空を覆うかのように重厚な存在感を放ち、そびえる山々。九州中央山地に足を踏み入れると緑深き原生林、清冽な流れをたたくる渓谷が次々に現れる。険しい谷川沿いに続くつづら折りの道。容易に人を受け入れない圧倒的なその自然は、独自の山村集落の形成、独特の習慣文化を育み、ついには落人伝説を生み出した。多くの日本人が失ったであろう、いにしえからの森林文化が残る五家荘。木を伐り、木の美や皮を採取し、猪、鹿、鳥、イワナ、ヤマメを狩って暮らす。現代にあってもなお、ここには森林の恵みを糧とする先人たちの知恵を受け継いだ、山と共に生きる暮らしが連綿と続いているのだ。



五家荘内の民宿にて

ここできしかふれあえない旅の宝物

滋味あふれる山の幸を 多彩な料理で味わう

年間を通して猪肉や鹿肉の料理が味わえる五家荘。噛むほどに旨味が増す猪肉は、鍋にしてもうまい。野菜と一緒に煮込めば、絶品のダシ汁が取れる。淡泊で柔らかい鹿肉は、そのまま刺していただけるほど新鮮だ。最近では、鹿カツ丼や竜田揚げなど、ひと手間加えた料理も食べられるように。山深き里で生きるため、落人たちもきつと、この山の幸を味わったに違いない。



豚肉



鹿肉の竜田揚げ



鹿カツ丼

木工品

緑深き山々で暮らす五家荘では、古くから林業が盛んだが、ここで採れる杉や檜は、加工し



やすく丈夫で、軽いのが特長。香りも良いとされる。そんな良質の木材に魅了され、木工家具を作る工芸職人がいる。「五家荘工芸」の松田剛さんはその一人だ。手がける作品は、いずれも木のあたたかみがあふれるもの。例えば、中央に火鉢が入られるダイニングテーブルなど、味のある木工家具を日々作り続けている。

五家荘で匠に出会う

草木染め

自然あふれる五家荘で20年以上も草木染めに心血を注ぐ人の職人がいる。「黒木工房」



の黒木千穂子さんである。クサギのブルー、セイタカアワダチソウの淡いレモン色、アカネからとる赤、タマネギの皮からとる黄金色など…。大自然から生まれる色で染め上げた糸は、なんともいえぬ美しさだ。「五家荘にしかない色合いを生み出すのが夢」と語る黒木さん。新たな色を作るため、山歩きをすることもしばしば。素材探しに余念がない。





霧深い山里で生まれる
茶葉は力強く
野趣あふれる風味。
そんな茶葉を職人の技が
さらに磨きをかける。



茶

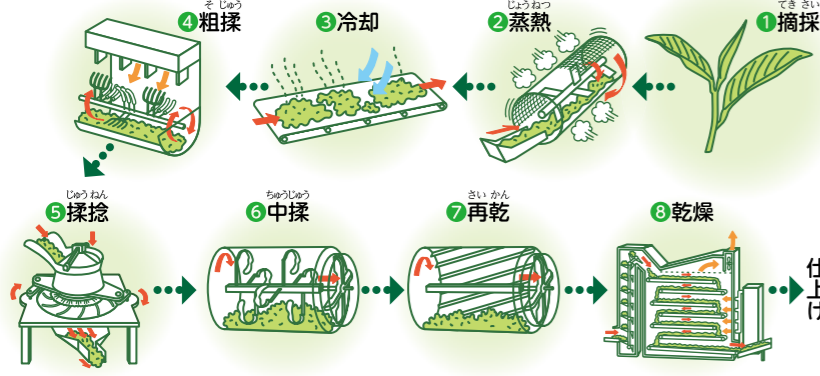
【tea】

山に宝あり
山郷で出合う味覚はどこかあたたかい。
豊かな自然に育まれた素材を
代々受け継がれてきた技で仕上げる。
心と体に染み渡る
山の宝物を探しにいこう。



お茶の産地としても知られる泉町。ここで生産される茶葉のほとんどは、「玉緑茶」と呼ばれるものだ。製造工程は途中まで煎茶と変わらないが、煎茶のようにまっすくな茶葉を作る精揉という作業がなく、代わりに回転するドラムに茶葉を入れ、茶葉を乾燥させる再乾という作業を行う。熟練の技が求められ、これにより、ぐるっと丸まった「玉緑茶」独特の形ができあがる。まろやかな口当たりで、渋みが少ないのが特長だ。

お茶づくり



特産品のお問合せ先
ふれあいセンター いずみ
八代市泉町下岳3296-1 TEL 0965673500
休館日：毎週水曜日(祝祭日営業) ※年末年始は別休
<http://www.izumimura.com/tueteal/>
※巻末の食堂・売店案内でもお求めいただけます。
お尋ねください。

ヤマメ
清潔な水で育ったヤマメのおいしさは開炉裏端でじっくりいただきたい。それが難しい方は真空パックで冷凍にした「五家荘ヤマメ(冷凍)」「甘露煮」などはいかが。
とっふの味噌漬
昔、焼き畑の主産物であった大豆を原料とした、縛り持ち運べるほどの固い豆腐を使用、それを数カ月間味噌に漬け込み熟成させるとチーズのような風味が生まれた。
平家の里ニニようかんセット
ひと口サイズのミニ羊羹がセットに、種類は緑茶、柚子、山椒、梅、よもぎの5つ。
梅干し
五家荘産の梅を使用、豊かで野趣味あふれる梅の風味がクセになりそう。



- 隠れ里の柚子こしょう
さわやかな香りの青柚子に、青唐辛子、塩を加えて練り上げる
- 隠れ里のゆずすば(青)
特産品の柚子の果汁と福岡県産米酢をブレンド、天ぷらやパスタにかけて使う
- 隠れ里の唐辛子にんにく
地元産の赤唐辛子とジャンボニンニクを使い、見た目と異なり、マイルドな味わい(特徴)



九州の秘境・五家荘でとれる柚子は、味、香りともに格別。特にその清々しい香りは、一度口にすると、すっかり虜になる。そんな柚子を存分に楽しみたいのなら、柚子胡椒がおススメ。絶妙の辛みと柚子のさわやかな香りと風味の組み合わせは絶妙だ。引き立て役として日本料理に欠かせない独特の香気を楽しみたい。

ゆず

ふたつづの落人伝説

言い伝えによると、五家荘にはふたつの落人伝説が残る。ひとつは平安時代、時の権力者、藤原一族により福岡県の太宰府に流された菅原道真公の子孫、左座家が藤原一族の追っ手から逃げるため、この地に入り、仁田尾や樅木に隠れ住んだという。

ふたつめは同じく平安時代、壇ノ浦の合戦に敗れた平清経の孫3人が、緒方姓を名乗り、葉木、久連子、樅原で居をかまえた。それ以降、その5つの集落のことを合わせて「五家荘」と呼ぶようになったのだ。

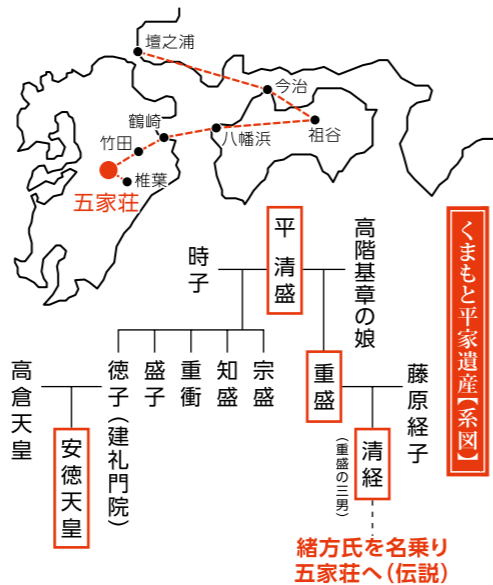
この山深き里にたどりついた落人たちは、どんな気持ちで暮らしていたのだろうか。「五家荘」には今でも、落人にまつわる文化や場所が点在する。そのひとつが、久連子地区で受け継がれている久連子古代踊りだ。「シャグマ」と呼ばれる県天然記念物の久連子鶏の尾羽根で作った花笠をかぶり、太鼓や鐘を鳴らしながら踊るその様子は、どこか悲哀がたたよう。落人たちも遠く都を偲びながら聞いていたであろう太鼓の音が、険しい山と青空しか見えない五家荘の風景の中に、淡々と響き渡っていた。



久連子古代の里

平家の落人たちの山里での暮らしを伝承する資料館。久連子鶏の飼育と展示も行われている。

歴史を語り、舞い踊る。



平安時代、菅原道真公の末裔や平家の落人が隠れ住んでいたという伝説が残る五家荘。その伝説にまつわる資料を展示しているのが「五家荘平家の里」だ。小高い丘の上に建つ施設で、あざやかな朱塗りが目を引く平家伝説館や能舞台を備えている。能舞台では、神楽、能、平家琵琶などの公演も行われる。館内には、五家荘全体の様子が分かるジオラマや平家落人ゆかりの品々が充実。地元でとれる食材を使った「平家御膳」などの料理が楽しめる食事処もあり、人気を集めている。



平家と源氏の愛の物語

五家荘には源平屋島合戦に登場する玉虫御前にまつわる伝説も残る。鬼山御前と名を変え、山奥でひっそりと暮らしていた玉虫御前だったが、ここにも源氏の追っ手、那須与一の息子、小太郎がやってくる。しかし、いつしか2人は夫婦になる。八代市泉町柿迫には保口神社があり、「乳の神様」として信仰を集めている。



▲鬼山御前の肖像画▲

▲保口神社

神秘的な五家荘の神楽

五家荘にはそれぞれの地区特有の神楽が伝えられている。例えば葉木神楽は、宮崎県の岩戸神楽をルーツとし、テンポが早いことで知られる。そのほか、樅木神楽や本屋敷神楽、岩奥神楽など、神秘的な舞いが奉納されている。



▲久連子鶏

葉木神楽

神官にしか許されなかつた神聖な舞
宮崎県の岩戸神楽をルーツとして六八四年ごろに始まり、毎年旧暦十月十七日に葉木神社に奉納される。太鼓や笛に合わせて速いテンポで舞う神楽の舞は神聖なものと呼ばれ、昔は舞い手は神官に限られたといふ。

樅木神楽

深夜まで続く
老若男女の多彩な舞
高千穂神楽の流れをくむもので、一八〇〇年ごろに始まり、毎年十月二十五日に樅木神社に奉納される。お神酒を飲み交わしながらの舞、鬼神の面を付けての舞など、数多くのものが伝えられている。

本屋敷神楽

シンバルの音とともに舞う
別名：夜明けの神楽
十月朔日曜日(約八時間)を費やし、男一人が舞を奉納する。天の岩戸が開き、朝日が差し込んだとを喜んで舞ったのが起源といわれている。

岩奥神楽

今も受け継がれる
肥後独特の神楽
阿蘇地方発祥の肥後神楽の流れをくみ、明治後期より毎年旧暦の六月十五日と十一月十五日に奉納される。笛や太鼓の音に合わせた十一種の舞が伝えられる。



緒方家
今から約300年前前に建てられたという茅ぶき屋根の屋敷。樅原地区にある。緒方姓に名前を変えた平清経の子孫の館であり、2階の隠し部屋など、落人の暮らしを垣間見ることが出来る。1階には囲炉裏部屋があり、屋内は落ち着いた雰囲気だ。



左座家
言い伝えによれば、平安時代、菅原道真の嫡男は左座太郎と改名し、仁田尾の地に落ちのびた。屋敷は約200年前に建てられたといわれ、菅原家の家紋である梅の文様や、3つの玄関など、独特の造りを見ることが出来る。屋敷内には古文書も展示されている。

山笑る 山滴る

みずみずしい若葉が次第に濃い緑に変化しながら、山肌をあざやかに彩る夏。森の中には鳥の音が響き、渓流の川面から稚鮎が勢い良く跳ねる。

白岩戸公園

縦木の吊橋

せんだん轟の滝

鮎釣り・ヤマメ釣り

五家荘平家の里

冰川ダム

山芍薬(やまじやくやく)

石楠花(しやくなげ)

山笑る 春

冬の間、ひっそりと息をひそめていた五家荘の山々は、春の訪れとともに二斉に若葉を吹く。やがて山は色付きはじめ、一気に明るく変化していく。

春山淡冶にして笑ふが如く

夏山蒼翠にして滴るが如く



五家荘自然塾

最大40人まで宿泊することができる研修施設。廃校になった小学校の跡地にあり、木工室や炭焼き窯などを備える。緑に包まれた木造の建物は、どこか懐かしい雰囲気がただよう。



五家荘溪流キャンプ場

日本三大急流のひとつ、川辺川の源流にあるキャンプ場。清らかな水が流れる溪流で、水遊びや川釣りが楽しめる。(要遊漁券) キャンプ用品のレンタルも充実していて、パンガローやテント、炊事場も常設。小さい子ども専用の人工河川も人気だ。



鮎釣り・ヤマメ釣り

五家荘を訪れたら楽しみたいのが溪流釣りだ。遊漁券を購入すれば釣りを楽しむことができ、県内外から多くの人が集まる。

山眠る 冬

五家荘の山々が静まり返る冬。一方で、山肌は雪化粧で覆われ、美しい樹氷が木々を飾る。そこには見たことのない神秘的な風景が広がっている。

縦木の吊橋

樹氷

福寿草

秋山明浄にして粧ふが如く 冬山惨淡として眠るが如し

梅の木轟公園吊橋

五家荘平家の里

五家荘平家の里

縦木の吊橋

縦木の吊橋

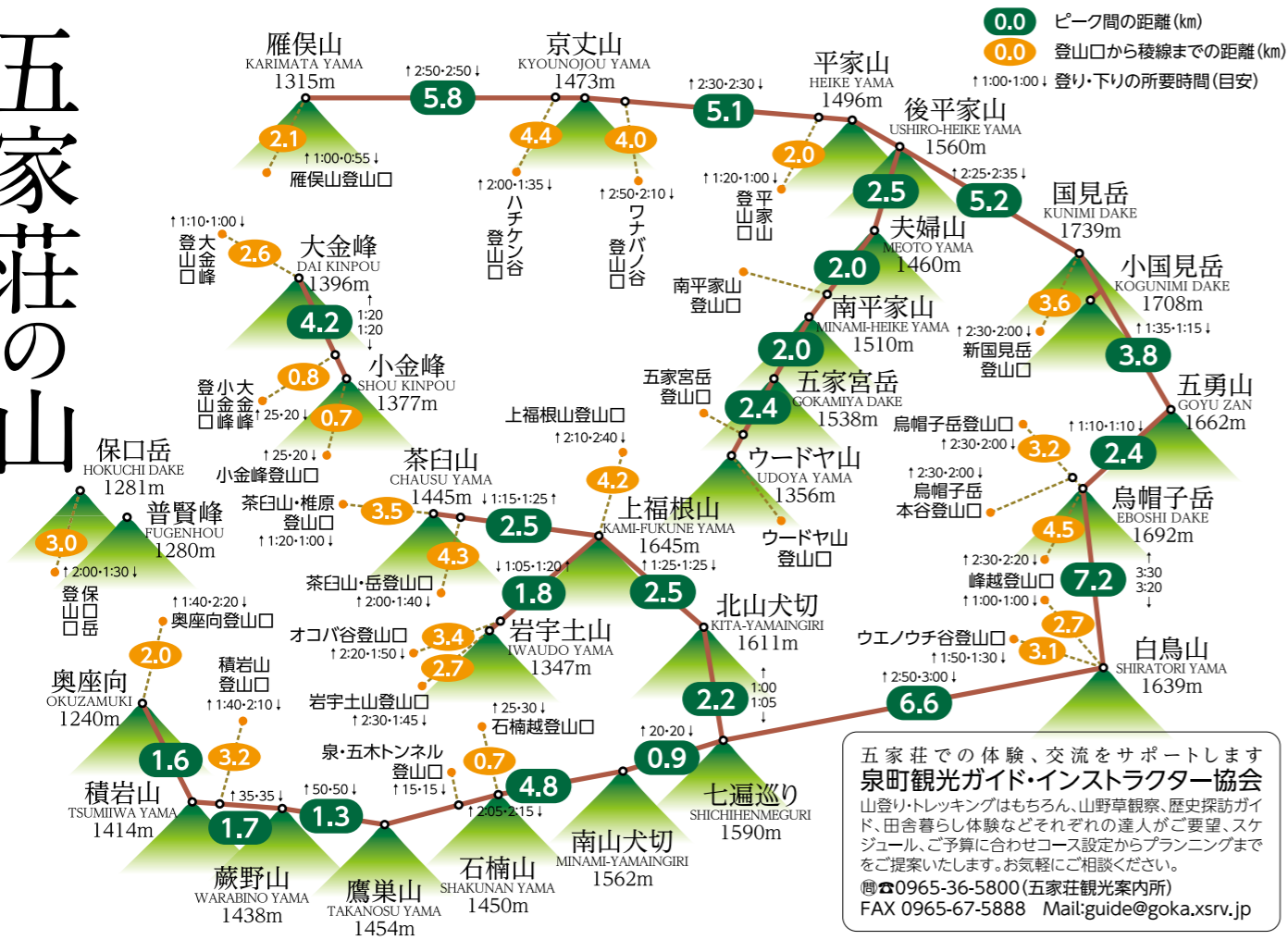
梅の木轟公園吊橋

山粧う 秋

秋になると、紅葉が五家荘の姿を、よそおつ。“赤と緑と黄金色…。渓谷がもつとも美しくなる季節である。

せんだん轟の滝

五家荘の山



1000mを超える九州中央山地の山々に囲まれた五家荘。熊本県内最高峰の国見岳（1739m）をはじめ、烏帽子岳（1692m）や白鳥山（1639m）など、九州百名山として紹介されている山や、登山ファアンに人気を集める山、合わせて20以上の山々が連なる。

快適に山を楽しむよう登山道の整備を行っています。



泉・五家荘登山道整備プロジェクト

天空の山脈

どこまでも続く稜線。そびえる九州中央山地の山々。ただ静かに山はたたずむ。それはまるで、天空を支えているかのようだ。



白鳥山・御池

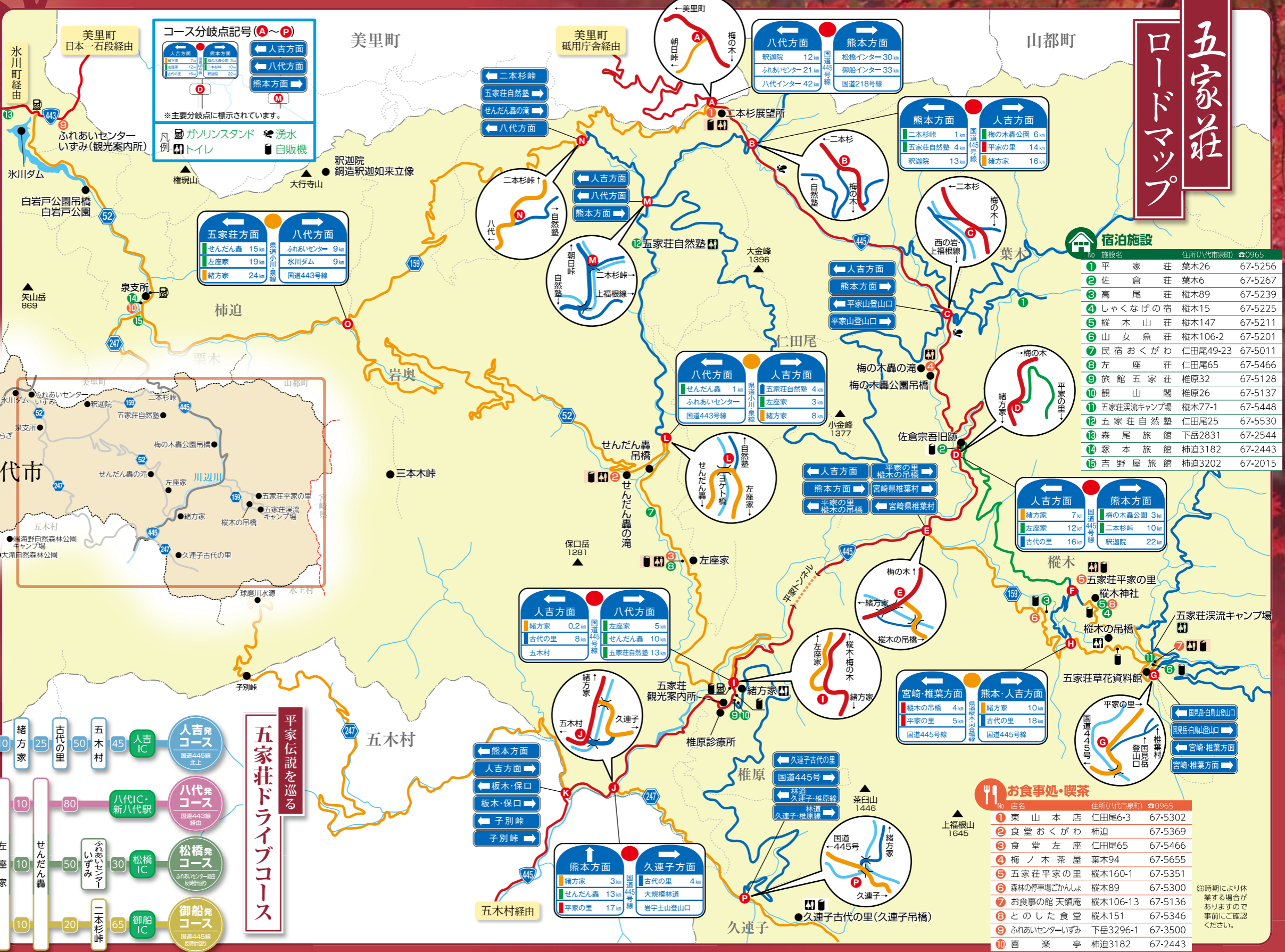
標高1639m。九州百名山の二つとして名高い。コースは初心者にも登りやすい登山ルートが整備され、途中には平家落人の清経が住み着いたとされる御池と呼ばれる湿地帯がある。これは「ドリーネ」と呼ばれる石灰岩台地の地表に生ずるすりばち状のくぼ地で、苔むした姿は往時と変わらぬ姿を残し、伝説を感じさせる神秘的な雰囲気漂わせている。

五家荘

ロードマップ



交通アクセス[お車]
 福岡方面
 …松橋ICから約60分
 鹿児島方面
 …人吉ICから約60分
 新八代
 …車で約120分



コース分岐点記号(A~P)

人吉方面	熊本方面
八代方面	八代方面
熊本方面	熊本方面

※主要分岐点に標示されています。

例: ガソリンスタンド, 湧水, トイレ, 自販機

五家荘方面

せんだん轟	15 km
左座家	19 km
緒方家	24 km

八代方面

ふれあいセンター	9 km
氷川ダム	9 km

国道443号線

人吉方面

緒方家	0.2 km
古代の里	8 km
五木村	8 km

八代方面

左座家	5 km
せんだん轟	10 km
五家荘自然塾	13 km

国道445号線

宿泊施設

No	施設名	住所(八代市泉町)	☎0965
1	平家荘	葉木26	67-5256
2	佐倉荘	葉木6	67-5267
3	高尾荘	縦木89	67-5239
4	しゃくなげの宿	縦木15	67-5225
5	縦木山荘	縦木147	67-5211
6	山女魚荘	縦木106-2	67-5201
7	民宿おくがわ	仁田尾49-23	67-5011
8	左座荘	仁田尾65	67-5466
9	旅館五家荘	椎原32	67-5128
10	観山閣	椎原26	67-5137
11	五家荘渓流キャンプ場	縦木77-1	67-5448
12	五家荘自然塾	仁田尾25	67-5530
13	森尾旅館	下岳2831	67-2544
14	塚本旅館	柿迫3182	67-2443
15	吉野屋旅館	柿迫3202	67-2015

お食事処・喫茶

No	店名	住所(八代市泉町)	☎0965
1	東山本店	仁田尾6-3	67-5302
2	食堂おくがわ	柿迫	67-5369
3	食堂左座	仁田尾65	67-5466
4	梅ノ木茶屋	葉木94	67-5655
5	五家荘平家の里	縦木160-1	67-5351
6	森林の停車場ごかんしよ	縦木89	67-5300
7	お食事の館 天領庵	縦木106-13	67-5136
8	とんした食堂	縦木151	67-5346
9	ふれあいセンターいすみ	下岳3296-1	67-3500
10	喜楽亭	柿迫3182	67-2443

(注) 時期により休業する場合がありますので事前にご確認ください。

五家荘ドライブコース

平家伝説を巡る

五家荘 祭り・イベント

4月

8日 釈迦院花祭り

6月

第1日曜 平家いずみお茶まつり

7月

下旬 ヤマメつかみ取り大会

10月

11月

10月25日～ 五家荘紅葉祭
11月20日

※この他にも、年間を通して各地で
祭り・イベントが行われています。



お問い合わせ

八代市泉支所

〒869-4401 熊本県八代市泉町柿迫3131
Tel 0965-67-2111

URL: <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

E-mail: iz-soumu@city.yatsushiro.lg.jp

五家荘観光案内所

〒869-4514 熊本県八代市泉町椎原148
Tel 0965-36-5800

五家荘ねっと

五家荘

検索

URL: <http://www.gokanosyo.net/>

八代市観光振興課 〒866-8601 八代市松江城町1-25 Tel 0965-33-4115
八代よかごと宣伝隊 〒866-0824 八代市上日置町4772-10(JR新八代駅内) Tel 0965-31-8200
やつしろ観光案内所 〒866-0831 八代市萩原町1丁目1番地(JR八代駅内) Tel 0965-32-2436